

はんだ

市議会だより

No.201
2018.5.1



- 市長施政方針に対する代表質問 P.2・3
- 一般質問、8人が市政を問う! P.3~5
- 3月定例会審議結果 P.6・7
- 新年度予算案の審査より P.8・9
- 平成30年度一般会計予算 修正案可決 P.10
- 政務活動費 活動報告 P.11・12

市政を問う

代表質問

一般質問

3月定例会における「市長施政方針」に対し、2月28日に3会派が代表質問を行い、市政に関する一般質問は、3月1日、2日に8人の議員が質問に立ちました。各議員の質問と市長を始めとする当局の答弁要旨は次のとおりです。（質問議員が執筆し、掲載順序は質問順です）

* 質問、答弁の詳しい内容は会議録をご覧ください。市議会ホームページか、半田図書館・亀崎図書館に設置してあります会議録をご利用ください。



党 代表 山本半治 議員

問 多くの市民から寄せられている、突然起きた病院建設移転問題は何かスッキリしないという声にどう答えますか。

答 大村知事の助言を反故することは、半田病院を含めた市政や市民生活への影響、県との信頼性が毀損されるなどの思いから苦渋の選択をしたもので、市民の皆様が理解されるよう、最良の結論を出していきます。

問 定住人口の増加を図るには、結婚して本市で住み続ける家族を増やすことが重要です。結婚を希望する人達の手助けとなる施策を実現すべきではないですか。

答 国の補助制度を活用するなど、本市として何ができるか積極的に取り組んでいきます。

問 本市が全国、全世界に向けたイメージアップを図るには、毎年1,400人以上が入学する市内高校生に、まちの魅力発信者になってもらうべきではないですか。

答 市や日本福祉大学の支援のもと「はんだU22研究所」では、S

Sを活用した若者目線の取り組みを進めています。より多くの高校生に関わってもらおうと共に「はんだまちづくりひろば」が市内高校とのパイプ役となり、必要な支援をしていきます。

問 中小企業が設備投資の税制改正が予定されており、固定資産税の税率をゼロ以上2分の1以下と市で決めることができると考えはありますか。

答 中小企業振興に効果が高いと判断しており、ゼロに向けて取り組んでいきます。

問 知多半島5市5町と半田、常滑、碧南、西尾で結成された竜の子街道広域観光協議会で広域観光の推進が図られています。市内の渋滞対策が必要ですか。その対策として都市計画道路「環状線」の全線開通が必要となります。積極的な対応をお願いできますか。

答 本市未整備箇所は平成33年完了予定ですので、残る未整備箇所は阿久比町に事業への協力をお願いし、事業主体者の愛知県に対し早期事業化に向けた要望活動を行っていきます。



半田 創造 石川英之 議員

問 「防災・減災」対策について、どこに重点を置いたのですか。

答 「防災・減災」については、要配慮者への支援助力の計画的な備蓄を進めるとともに、移動系無線機の増台を図っていきます。

問 「教育・子育て」について、安心して出産・子育てができる環境とはどのような環境ですか。

答 例えば、待機児童や、隠れ待機児童をなくすなどソフト面でもきちんと対応できる環境です。「放課後子ども教室」と放課後児童クラブの一体的な運用についてはどのように考えていますか。

答 現在も一体的に事業は進んでいます。今後、児童や保護者の希望により放課後児童クラブに通う児童が放課後子ども教室に参加できる仕組みを検討していきます。

問 観光振興における「インスタグラムやSNSなどの活用」については如何お考えですか。

答 学生と連携し、インスタ映えするスポットを若者目線で発掘し、プロが撮影した画像をSNSやネット上に掲載することにより、半田の魅力の拡散を図ります。また、撮影意欲を掻き立てる小道具や、モニタメントになるようなフォトブースなど、半田を象徴する撮影セットを若者の意見を取り入れながら作成します。

問 半田病院について、市民に対し説明会を開催する考えはありますか。

答 一定の方向性が決まったあとに、きちんと説明をさせて頂き、新年度予算に対する市長の意気込みはどこに表れていますか。

答 放課後児童健全育成事業に係る保育料の引き下げや小中学校のトイレ洋式化70%への取組は早期の公約実現に向け予算化しています。また、幼稚園の保育室等への空調機設置に向けた設計も進めています。

市政を問う 代表質問 (質問議員が執筆しています)

市政を問う 代表質問



志民ネット 小栗佳仁 議員

問 定住促進についてお伺いします。

答 若い世代が就職、結婚、出産など人生の転機を迎えた際に、いかに本市を選んでもらい、住み続けてもらうかが課題であると認識しています。この課題に対する施策は、まちの総合力や魅力を高めることや、効果的なPRを推進する必要があります。新年度におきましては、市内外の若い世代や市内在住者に向けて、本市の魅力を発信する取組を進め、長期的視点で、本市の定住促進につなげていきます。

問 従業員確保のための企業支援と企業誘致活動の施策についてお伺いします。

答 商工会議所と連携し「るびあん合同会社説明会」を開催しています。また、市内企業の雇用対策に繋がる独身寮の斡旋や従業員駐車場の用地支援にも努めています。その他にも、各種優遇制度を活用し、企業が進出や設備投資しやすい環境を整えていきます。

問 新半田病院建設予定地の変更と患者さんの立場に立った検討の必要性についてお伺いします。

答 職員駐車場を新病院建設予定地とするのことに對しては、皆様にご理解とご支援を頂きました。しかしながら、大村愛知県知事からの助言を重く受け止め、職員駐車場への建設については断念し、新たな移転先を検討する判断をいたしましたので、ご理解頂きたいと思えます。現在、開催しております検討委員会において、平時における患者さんやご家族の利便性は重要であると考え、開院までには最善の方策を検討していきます。仮に、建設予定地が半田運動公園に決定した場合に、効率的な運営を目指すためにも、速やかに常滑市と協議していききたいと考えています。



創造みらい半田 鈴木幸彦 議員

大規模災害時の避難所運営

問 指定避難所43ヶ所の収容数と想定避難者数は把握していますか。

答 避難者は最大で1万3千人。収容可能人数は1万3千7百人。現況に於いて校舎の一部を活用することで十分対応可能と考えています。

問 地域の自主防災組織の力が重要であり、不可欠だと考えますが、

答 各地域での避難所開設訓練では、多くの地域住民が参加し、年々意識が高まっています。市との連携はもちろん、最終的には地域の力が頼りとなってきます。

問 備蓄食糧や飲料水の管理の現状はどうなっていますか。

答 非常時の搬送は難しいことから、半田市では避難所へ分散備蓄を進めており、現在60%にあたる26ヶ所が配備完了しています。

問 なぜ、全避難所に配備しないのですか。学校や公民館の空きスペースの都合上、

医療は継続できるか

問 大規模災害時でも半田病院の機能は維持できますか。

答 通常診療から災害診療に切り替え、重傷者の受入れ体制をとります。一人でも多くの診療は言うまでもなく、対応不可の場合は、医療圏域内外問わず早急に搬送する計画となっています。

問 医薬品や水、医療ガス、電気の連続供給に問題はありませんか。

答 医薬品は近隣業者より、水は従来から地下水で8割賄っており、供給可能です。電気も電力供給源を複数確保、また自家発電機も配備しており、継続可能と考えています。病院には欠かせない医療ガスについても屋上のタンクとは別に大型と小型のボンベを保管しており、医療の継続に支障はありません。

災害時には、地域のドクターや医師会などと連携をとり、一人でも多くの命を救うことに全力を注いでいきます。



無所属 山本佳代子 議員

第6期介護保険事業と第7期介護保険事業

問 第6期介護保険事業(計画)における地域密着型サービスの基盤の達成状況と、課題を残した事業がなぜ未達成だったのか、市民にわかるように市報等で知らせたいがどうですか。

答 認知症デイサービス事業所等、9施設の整備を予定していましたが、公募を行ったものの応募がなく、4施設にとどまりました。第7期介護保険事業計画では整備計画等を見直していきま

問 ショートステイを扱う事業所はいくつありますか。また増やして欲しいがどうですか。

答 市内に10ヶ所あり、利用出来ない等の話は聞いていません。

問 軽度者向け介護事業所が運営難で、事業から撤退するケースが、半田にもありますか。

答 軽度者の利用が少ないう理由でサービス所が3月末で中止する事業所が2か所あります。利用者に影響ないよう指導します。

問 「地域包括ケアシステム」の深化と推進については、地域住民の支え合いや助け合いに頼るのではなく、行政が責任をもって実施すべきではないですか。

答 行政が責任を果たしていきますが、自己評価を行うとともに、半田市介護保険運営協議会の専門部会として設置する「事業計画等評価・推進部会」で事業の見直しを図っていきます。

問 「訪問型Dサービス」⇨移送サービス⇨出かけたくなる環境作りの計画についてはどうですか。

答 先進事例を参考に必要性も含め、検討していきます。

問 ショートステイを扱う事業所はいくつありますか。また増やして欲しいがどうですか。

答 市内に10ヶ所あり、利用出来ない等の話は聞いていません。

市政を問う 一般質問 (質問議員が執筆しています)

自治区支援



創造みらい半田 嶋崎昌弘 議員

自治区加入率についてお伺いします。

平成25年度69.64%、平成29年度67.54%と減少傾向にあります。

加入世帯のメリットは何ですか。

市報・回覧物が確実に自宅へ届きます。

ごみは地域で定めたごみステーションに出せます。区の施設を利用でき、行事に参加できます。

行政ができる加入促進についての見解をお伺いします。

自治区加入メリットを掲載した案内チラシの作成や子どもを介したイベント告知等具体的な加入促進を進めていきます。

地域担当職員制度はどのような効果がありますか。

地域と行政がお互いに情報を共有する事ができ、地域の提言や困り事を担当課へ伝える等区役員の負担を軽減することができました。

自治区により世帯数が異なりますが、世帯数の多い地区について行政協力を増員する考えはありますか。

自治区のあり方検討会議を継承し、自治区支援検討会議に諮り協議していきます。

行政事務委託料についてお伺いします。

行政事務の効率的な運営と地域の安全等生活環境の向上を図るために、住民要望や防犯活動等の39事務の委託料としてお支払しています。

現在の42自治区は世帯数が6,000世帯から23世帯と大きな差があります。この現状について見解をお伺いします。

自治区間で世帯数の差が生じ、地域の繋がりがりや役員の担い手等により運営に支障をきたすことも予測され、課題であると認識しています。従来から、深い繋がりのある小学校単位が理想的であると考えます。

役員のなり手不足についてお伺いします。

役員の高齢化及び負担が増えたことが要因であります。近隣自治区と行事の合同開催等を推奨して役員の負担軽減に協力していきます。

自治区により世帯数が異なりますが、世帯数の多い地区について行政協力を増員する考えはありますか。

安心・安全な通学路



公明党 鈴木好美 議員

通学路を指定する基準はありますか。

基準は設けていません。んが、交通上の安全性・利便性や防犯上の安全性などを考慮し、各学校にて指定しています。

平成27年度に報告のあった危険箇所は平成28年度の点検において改善されましたか。

平成27年度の一点検で検では76カ所、平成28年度の点検時点では66項目対応して、残り20項目のうち3項目は完了しています。対策に大規模な工事を要するものは中長期的な計画で対策を行っています。

通学路の安全を考えると、学校周辺にゾーン30の速度規制や路面表示の実施、またスピードを抑制するハンブが効果的と考えますが如何ですか。

ゾーン30は通学路の効果が高いと認識しています。今後、ゾーン30路面標示や交差点のカラー塗装などを半田警察と調整して取組んでまいります。またハンブの設置は予告看板などで周知してもハンブの存在に気付かず、車両に損傷を与えたり、オートバイや自転車車が転倒によって負傷したりする恐れがあるため地域の実情に合った有効な方法で実施していきます。

通学路において不審者情報はどのような方法で保護者と共有していますか。

本市では警察や他市町の教育委員会と連携し、不審者情報があった場合、学校メルマガとして定着しているメールマガジンやFAXなどにより情報を発信して共有しています。

通学路での防犯安全対策に防犯ブザーや防犯グッズが有効と考えますが如何ですか。

防犯グッズについては多くは多くの保護者の方々が個々に用意して頂いており、本市としては民間企業より提供いただいた防犯笛を全小学校一年生に配布しています。今後も地域を見守る方々の協力を頂きながら安全確保に努めていきます。

音楽文化振興事業をどう進めますか。

セントラル愛知交響楽団との「音楽文化振興に関する協定書」に基づく事業を軸に、市民管弦楽団、合唱協会、ジュニアアラスバンドを始めとする地域で活発に活動する音楽団体と協力し「音楽のあるまちづくり」を目指します。

平成28年度にスタイルンウェイピアノを購入した後、目的に合った活用がされていますか。著名なピアニストを招くことはできませんか。

雁宿ホールのステージで子どもたちに演奏の機会を提供しました。今後、東京や大阪の事業者の方にもPRして、プールの演奏家に来てもらえるよう努力します。

今後の文化・芸術事業をどう進めますか。

将来的にはNPO、民間などへの外部委託も視野に入れ、様々な方の意見を聞き、進めま

女性活躍推進に向けた取り組み

文化・芸術振興



無所属 加藤美幸 議員

音楽文化振興事業をどう進めますか。

セントラル愛知交響楽団との「音楽文化振興に関する協定書」に基づく事業を軸に、市民管弦楽団、合唱協会、ジュニアアラスバンドを始めとする地域で活発に活動する音楽団体と協力し「音楽のあるまちづくり」を目指します。

平成28年度にスタイルンウェイピアノを購入した後、目的に合った活用がされていますか。著名なピアニストを招くことはできませんか。

雁宿ホールのステージで子どもたちに演奏の機会を提供しました。今後、東京や大阪の事業者の方にもPRして、プールの演奏家に来てもらえるよう努力します。

今後の文化・芸術事業をどう進めますか。

将来的にはNPO、民間などへの外部委託も視野に入れ、様々な方の意見を聞き、進めま

女性活躍推進に向けた取り組み

女性の管理職登用の現状と目標はどのようなですか。

全体では19.2%、行政職(病院の医療職と保育園幼稚園を除く)では、36%です。半田市男女共同参画推進計画では、平成31年度、行政職の管理職に12%の目標値を掲げています。

職員の退職理由に男女の違いはありますか。

昨年度、定年退職を除く退職者のうち男性の退職理由は転職が多く、体調不良と自己都合が同数です。女性は①転職②家庭の事情③結婚④体調不良⑤妊娠出産⑥自己都合の順です。

県内で1,048の企業や自治体が宣言する「あいち女性の活躍促進宣言」を半田市はいつしますか。また、市内事業者や団体等への働きかけは如何ですか。

平成30年度中の宣言に向け、女性が働きやすい職場環境を整えます。市が先頭に立ち、女性活躍、男女共同参画事業に取り組みます。

女性活躍推進に向けた取り組み

女性活躍推進に向けた取り組み



日本維新の会・無所属連合
中川健一 議員

病院移転問題、民の信無くれば立たず

問 市長自身が選挙で市民に判断を仰ぐとしていた半田病院の移転先案、職員駐車場公約を撤回しました。市長は潔く辞職すべきと考えます。

答 老朽化する半田病院を一刻も早く建て替えることが選挙公約です。公約違反と言う批判はあたらぬと考えます。

病院移転議論、市長のでたらめな答弁、大規模修繕費140億円

問 平成28年9月議会答弁では、平成34年以降の開院となると大規模修繕費140億円が必要となるので病院は赤字経営となり、現実的ではないと言ったことでした。ところが今は平成37年度開院で計画が進んでいます。平成28年の答弁は虚偽答弁であったと考えますがいかがですか。

答 大村知事のご提案をふまえ、長期的な半田市のまちの事を考えやむを得ず、考えが変わ

病院移転議論、市長のでたらめな答弁、都市計画法の解釈

問 平成28年12月議会にて、私が移転先案として提案した北部グラウンドや半田運動公園周辺に対し、両案は市街化調整区域内なので、基本的には病院は建設出来ないことになっている、この答弁がありました。ところが現在、半田病院の移転候補地として北部グラウンドと半田運動公園が検討されています。平成28年12月議会の答弁は虚偽答弁であったと考えますがいかがですか。

答 誤りとは考えておりません。市長は市街化調整区域内の開発許可権者です。都市計画法の解釈がその時々で変わる訳ありません。平成28年12月議会が虚偽答弁か、今が違法なのかのどちらかです。私は平成28年12月議会の答弁が虚偽答弁であったと考えます。

答 過去の答弁とは変わっていきませんが、その時その時、最善の道を選んでいきます。



創造みらい半田
中村宗雄 議員

市内の中小企業や小規模事業者の支援を通じたまちの活性化

問 日本の企業の99.7%を占める中小企業等が元気でなければ、まちの活性化は図れません。半田市における工業分野では事業所数が14%の減少、商業分野では事業所数が28%の減少、農業分野では農家戸数が26%も減少しています。この現状を如何お考えですか。

答 工業分野では後継者や従業員確保が困難なため、廃業が進んでおり、商業分野では大規模小売店舗の出店や後継者問題による商店街の空洞化、農業分野では高齢化や後継者不足や収益性の問題から離農する事などが原因と考えられています。

問 産業が縮小していく状況に対し、危機感をお持ちですか。

答 強い危機感を持っていていきます。現在半田市は中小企業等への支援施策として何を行っていますか。経営の健全化と安定化、創業支援を目的

に、補助金等を中心個別の経営相談も実施しています。

問 現在半田市が行っている中小企業等へ支援施策を継続して行うことで、半田市の産業の縮小の歯止めや雇用の創出が図れるとお考えですか。

答 産業の縮小化の原因は人口減少等の社会構造の変化と考えており、現在の支援施策は各分野の活性化に寄与できると考えています。

問 今、全国では静岡県富士市が行う「f-i Biz」(エフビズ)をモデルとした高いコンサルティング力をベースに自治体主導で行う個別伴走型の中小企業支援が、それらが生み出す大きな成果と共に注目され、各地で取り組む自治体が増えてきていますが、半田市としても、同様の産業支援施策に取り組む考えはありませんか。

答 半田市としても、早急にエフビズについて調査研究を行い、制度導入について考えていきたいと思っています。



日本維新の会・無所属連合
竹内功治 議員

園・学校施設の充実

問 小中学校へのエアコンの設置計画はどのようになっていますか。

答 中学校は平成32年度に実施設計して翌年度以降に工事を行い、小学校は中学校が完了した後を予定しています。

問 熱中症など、児童生徒の体力面に心配がある小学校へ先に設置すべきでないですか。

答 高校受験への環境整備を考慮して、中学校を先に設置する予定です。すべての児童生徒の教育環境の充実を考えると、小中学校同時に設置すべきでないです。

問 同時の設置は考えていません。しかしエアコンの必要性は理解していますので、今後の校舎の改築計画と効率的な財政負担を考えながら、少しでも早く設置できるように進めていきます。

問 窓ガラスに貼付してある飛散防止テープは劣化が目立ちます。災害時に役立ちますか。

答 飛散防止テープは貼付してから10年以上経ち劣化が激しくて問題なので、危険と判断された箇所から飛散防止フィルムを張替を行います。

問 飛散防止フィルム・テープはいつか劣化してしまいます。それならばすべての園・学校施設に強化ガラスを設置すべきでないですか。

答 この先、計画している校舎の改修・改築の際には強化ガラスの採用を考えていきます。

問 今後、市内の多くの公共施設で改修・改築の時期がきます。その中でも園・学校施設は最優先に対策すべきと考えます。老朽化対策の策定計画について伺います。

審議結果 平成30年第1回定例会（2月20日～3月23日）

（ ）内は議案の補足説明です。

■全会一致で可決の案件

議案番号等	議案名	議案番号等	議案名
1	平成29年度半田市一般会計補正予算第7号 （総務：一般財源を将来の公共施設更新等の費用の財源とするため積み立てるもの 文教：放課後児童健全育成事業の充実として、板山小学校の余裕教室を改造し、子育て支援の場を創設するため1,961万円余を歳出するものなど 建設：昨年10月の台風21号の影響により、崩壊した法面の本復旧工事の費用など）	24	半田市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について （学校医及び学校歯科医の費用弁償について、他市町の状況に合わせ一人一回あたり100円を上乗せするよう条例の一部を改正するもの）
2	平成29年度半田市乙川中部土地区画整理事業特別会計補正予算第3号 （建物移転2件が年度内に完了できないために繰越し、減額するもの）	28	半田市文化財保存継承基金条例の制定について （ふるさと納税基金を活用し、新しく基金を創設して財源確保をし、文化財の保存継承を図ることを目的とするもの）
3	平成29年度半田市JR半田駅前土地区画整理事業特別会計補正予算第3号 （国の補助金額が予算に対して約2.7%少なかったために繰越し、減額するもの）	29	半田市手数料条例の一部改正について （介護事業所の指定と更新にかかる手数料を規定する条例を改正するもの）
4	平成29年度半田市国民健康保険事業特別会計補正予算第2号 （療養給付費等交付金の額が確定し、6,638万円歳入に繰入れるもの）	30	半田市野外活動センター条例の廃止について （野外活動センターが平成29年10月31日に閉鎖したことに伴い、関わる条例を廃止するもの）
5	平成29年度半田市介護保険事業特別会計補正予算第5号 （新しく開設の介護施設が火災の影響で開設時期が平成29年10月に延期となること、各種サービスの利用者数減等により、1億1300万円減額するもの）	31	持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理について （県外の特例施設入所者にかかる資格の扱いに関する条例を改正するもの）
6	平成29年度半田市立半田病院事業会計補正予算第5号 （病院整備のための寄付金）	34	半田市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について
7	平成29年度半田市下水道事業会計補正予算第1号 （人事異動により、退職積立金を増額するもの）	35	半田市都市公園条例の一部改正について （都市公園法施工令の改正に伴い、都市公園に設ける運動施設の敷地面積の割合を条例で定めるもの）
10	平成30年度半田市乙川中部土地区画整理事業特別会計予算 （平成33年度完了に向け、建物移転3件と区画整理工事を行い住環境の向上を図るもの）	36	半田市営住宅条例の一部改正について （連帯保証人の人数を2名から1名に、また単身者の入居を認めるなど、入居要件を緩和するもの）
12	平成30年度半田市学校給食特別会計予算 （栄養バランスのとれた安心安全な給食を提供するため、食材費を計上するもの）	37	半田市旅館等の建築の規制に関する条例の一部改正について （旅館業法による「ホテル営業」「旅館営業」の営業種別が「旅館・ホテル営業」へ統合されることに伴い、条例を改正するもの）
13	平成30年度半田市黒石墓地事業特別会計予算 （墓地使用料300万円と一般会計からの繰入金1,278万円で地方債を返済するもの）	38	半田市上下水道事業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について （昨年12月に改正された半田市職員の給与条件に合わせ、住宅手当及び扶養手当を改正するもの）
14	平成30年度半田市駐車場事業特別会計予算 （クラシティ半田、雁宿駐車場に3,508万円を事業運営したもの）	39	中部知多衛生組合規約の変更について
15	平成30年度半田市モーターボート競走事業特別会計予算 （競艇事業収入500万円のうち約490万円を一般会計へ繰出）	40	半田市知多半田駅前再開発ビル駐車場の指定管理者の指定について （平成30年4月1日から平成33年3月31日まで、株式会社はんだ賑わいビル開発を指定管理者に指定するもの）
19	平成30年度半田市立半田病院事業会計予算	41	半田赤レンガ建物の指定管理者の指定について （JTグループの組織再編により、JTBプロモーションからJTBCコミュニケーションデザインに名称変更するもの）
20	平成30年度半田市水道事業会計予算	42	市道路線の廃止について （道路法に規定に基づいて、有楽77号線をはじめ2路線を市道から廃止するもの）
21	平成30年度半田市下水道事業会計予算	43	市道路線の認定について （道路法に基づいて、高根59号線をはじめ9路線を市道に認定するもの）
22	半田市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部改正について （心身障がい者手当等の資格認定時に、マイナンバーを使うことで事務手続きの軽減を図れるよう条例を改正するもの）		

■その他の案件

議案番号等	議案名	議案番号等	議案名
	平成30年度市長施政方針について		
報告1	専決処分の報告について（工事請負契約の変更）	監査報告1	定例監査（教育委員会、水道部、市立半田病院）

■賛否の分かれた案件

議案番号等	議案名	議員名														議決結果									
		創造みらい半田							公明党			志民ネット		日本維新の会 無所属連合			無所属								
		久世	成田	岩田	鈴木	沢田	澤田	中村	渡辺	石川	嶋崎	榊原	山田	鈴木	山本	小栗	小出	竹内	中川	山本	加藤	新美			
		孝宏	吉毅	玲子	幸彦	清	勝	宗雄	昭司	英之	昌弘	伸行	清一	好美	半治	佳仁	義一	功治	健一	佳代子	美幸	保博			
8	平成30年度半田市一般会計予算	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	修正部分を除く原案可決	
	平成30年度半田市一般会計予算に対する修正案	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	修正案可決
9	平成30年度半田市中小企業従業員退職金等福祉共済事業特別会計予算 （現年度掛金と一般会計繰入金で収支均衡をはかるもの。なおこの事業は平成31年4月1日をもって廃止する）	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
11	平成30年度半田市JR半田駅前土地区画整理事業特別会計予算 （JR半田駅の整備のための用地取得費や物件移転補償費、区画測量の業務委託費や保全工事の費用など）	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
16	平成30年度半田市国民健康保険事業特別会計予算 （被保険者に対し、健康増進を目的とした従来の事業に加え、健康な歯を保つことであらゆる疾病予防に繋がることから、今年度4月より歯周病検診を実施するもの）	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
17	平成30年度半田市介護保険事業特別会計予算 （第7期介護保険事業計画が始まる年度で、地域包括ケアシステムの構築を目指し、在宅医療・介護サポートセンター事業はじめ各種事業を展開するもの）	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
18	平成30年度半田市後期高齢者医療事業特別会計予算 （高齢者医療に関する収支事務、その他各種手続きの窓口事務を行い、円滑な運営を図るもの。平成30年度被保険者見込みは14,850人）	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
23	半田市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
25	半田市特別職員の給与に関する条例の一部改正について	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
26	半田市職員の給与に関する条例の一部改正について	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
27	半田市職員退職手当支給条例等の一部改正について	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
32	半田市国民健康保険税条例の一部改正について （国保税の賦課限度額引き上げに伴い、条例を改正するもの）	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
33	半田市介護保険条例の一部改正について （介護保険料の見直しに伴い、条例を改正するもの）	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

（表の見方）議は議長（採決に加わらない）、○は賛成の議員、●は反対の議員、退は退席の議員

新年度予算案の審査より

3月定例会では新年度の予算について適正な審査が行われました。
委員会ではどのような質疑が交わされているのか、その一部をお知らせします。

総務委員会

公共交通対策事業

問 7,963万7千円の事業費の内訳は。

答 10月の実証運行が始まる地区路線3路線の委託料2,746万4千円。再編実施計画策定の支援業務567万円。バス路線維持費補助は知多バス運行の5路線で3,400万円。その他は1,250万3千円で、バス結節点の改修、連絡通路などの整備バス停120か所の製作委託費です。

問 再編実施計画策定することの補助があがるのとこのですが、どのような内容ですか。

答 国の認定を得ると、基幹路線に接続する地区路線への補助額の上限額が半田市の場合約450万円が約800万円まで上げていただけます。

新半田病院建設

問 新病院の開院が4年遅れることで、現病院の修繕費を今後どのように予算立てしていくのですか。

答 新病院建設に向けて控えていた修繕の見直しをして整理しました。修繕項目をすべて洗い出し、患者さんの医療の安全にかかる部分を最優先し、それ以外は壊れたら対処するという形で考えています。

問 平成37年5月開院とのことですが、工期の短縮についての考えはありますか。

答 いろいろな前倒しができることを検討して、最大限努力します。

問 環状線の早期開通が必須ですが、どのように考えていますか。

答 亀崎・乙川の方々のアクセスのため、環状線の早期開通は必須と考えています。武豊・阿久比・半田の議会や商工会などにも入って頂き、環状線の必要性について訴え、開通に向けて努力していきます。

問 新病院建設への国や県の補助金のメニューをどの程度開拓していくつもりですか。

答 補助はいろいろありますが、その獲得に向けて努力していきます、あらゆる方策を講じて様々な補助金を探し、アンテナを高くして国・県に

もお願いしていきます。

問 病院が移転した後の現病院を7年後、8年後に療養型の医療施設にするのであれば、順次直していく必要があるし、壊すのなら直さなくてもよいですが、そのことは計画的にできていますか。

答 当予算を作る段階では、現病院は取り壊しをする計画としています。

文教厚生委員会

成年後見利用促進事業

問 負担金の算定根拠を見直した理由及びどのくらい増額するのですか。

答 成年後見センターの利用実績から、費用負担の公平性を図るため見直しを行いました。増額は137万円です。

放課後児童健全育成事業

問 なぜ、保育料金の軽減を行いたいのですか。

答 公営で実施している他市町に比べ、利用料が高い傾向にあるからです。

問 様々な子育て支援施策が実施されているが、各担当・事業の連携が十分でないと思われませんか。

うか。

答 必要に応じて、プロジェクトチーム等横断的な組織を設けて子育て支援を総合的に考えていきます。

いじめ・不登校対策事業

問 スクールソーシャルワーカーの相談体制を増加させることによる効果をどの程度見込んでいますか。

答 児童・生徒が抱えている問題を学校だけでない他の社会支援へと繋げて行くことにより多くの案件が解決すると考えています。



新給食センター建設

問 建設地の再検討をするこ
とになったが、どのよう
に取り組まれますか。また、
完成はいつ頃を目指していま
すか。

答 市内数か所を検討してい
ます。用地確保の目的が
立った時点で3か年実施計画
に盛り込みます。完成は最短
で、平成37年秋となります。

建設産業委員会

旅券発給事務事業

問 平成31年度から新たにパ
スポートセンターを開設
するが、場所をクラシティと
した理由は何ですか。

答 広域実施に伴い、他市町
からのアクセスとして便
利な名鉄駅前であるという点
を重視しました。また、それ
に伴いクラシティ周辺の交流
人口が増えることも期待して
います。

まちづくり推進事業

問 相談件数が減少している
ようですが、改善の方向
性を考えていますか。

答 経営コンサルタントにつ
いては、平成29年度上旬
から契約変更し、現在は経済
産業省出身の見識者を中心に
改善の方向を探っています。

現在、経営相談や起業支援が
行えるよう、効果的な方法を
調査研究している段階であり、
策が見つければ補正予算など
で、改善するよう努めていき
ます。

観光の回遊性

問 半田市の観光の課題であ
る回遊性向上について、
回遊率をどのように捉えてい
ますか。

答 現在は、各施設の来場者
数の合計を観光客数とし、
アンケート調査により回遊の
状況を調査しています。回遊
率のより正確な把握に努めた
いところではあります。調
査には費用もかかるため、先
進事例などを参考に、調査方
法を探っていきます。

JR武豊線連続立体 交差化事業

問 国からの補助金が十分に
得られていないようです
が、事業のスケジュールに影
響はないですか。

答 今後、国の補正予算など
可能な限り補助金を獲得
できるよう、積極的に関係機
関に要望していきます。また、
補助金が十分確保できなかった
場合は、土地開発公社を活
用することや、必要な場合は
市費を投入してでも事業を実
施していきたいと考えており、
計画に支障の無いよう進めて
いきます。

市営住宅の条例改正

問 条件緩和の条例改正をす
る理由は何ですか。

答 連帯保証人を1名にする
など入居要件を緩和する
ことで、入居率を高めるねら
いがあります。



新年度予算に係る 反対討論

議案 8・16・17・18・23・
25・26・27・32・33号に反対
山本佳代子議員

一般会計予算で、保育園給食
調理等委託事業や、市民課窓
口委託事業、大企業応援の創
業支援の奨励金はやめるべき
です。国保の都道府県化によ
り課税限度額引き上げ、介護
保険料の基準額引き上げで、
市民の負担増。議員・特別職
報酬の引き上げに反対。新行
政職給与表2の適用職員は生
涯賃金の差が大きく、職員退
職金手当の減額にも反対です。

議案 8・9・11・25号に反対
中川健一議員

一、JR武豊線高架化関連事
業は一時間に往復4本しか走
っていない単線の鉄道を高架
化するのに約303億円もの
税金を使う馬鹿げた事業です。
そもそも誰も困っていません。
二、赤レンガ建物観光拠点化
事業は施設整備に約27億円、
運営費毎年約7000万円の
税金を使います。市民生活に
はほぼ関係ない事業であり、
教育子育てへ予算を回すべき。

本会議会議録・予算審査会議録閲覧のご案内

市政に関する一般質問や、議案の提案説明、討論、委員会審査経過と結果の報告など、本会議や、各常任委員会における審査の詳細なやりとりは、市議会ホームページの会議録検索システム、または半田市立図書館と亀崎図書館で閲覧することができます。ぜひご利用ください。（3月議会分について6月頃からご覧いただけます。）

会議録検索システムは、半田市ホームページ<http://www.city.handa.lg.jp/>の、本会議会議録の検索からご覧ください。

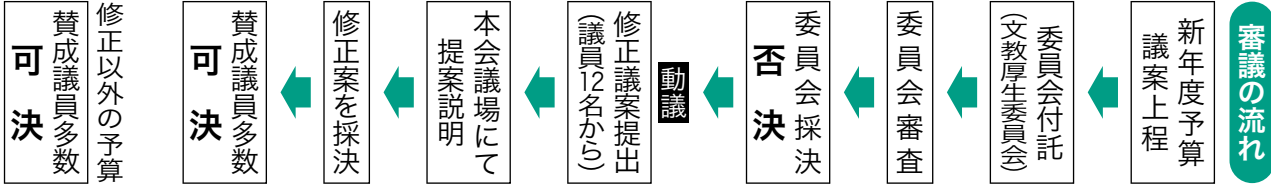
平成30年度 一般会計予算『修正案可決』

◆放課後児童クラブ運営委託費

- ・放課後児童クラブとは、共働きやひとり親家庭の児童を放課後に預かる施設で市内に17か所ある。事業所によっては、習い事など民間ならではの工夫で、他市町にはない保育のレベルを保っている。平成29年度放課後児童クラブ利用率は、市内全児童数の約12%となっている。

**原案
(要約)**

- ・民間での放課後児童クラブ保育料は、事業所によって異なり、平均すると一人あたり月額約12,200円です。半田市は、公営で行っている近隣他市と比較すると高く、市長の公約に沿って平成30年4月から保護者負担を小学校低学年9,000円、高学年5,000円と一律料金とし、差額を市費で補助するものです。
- ・平成32年度から基準保育料を設定し、全事業所一律とします。
- ・この保育料補助による歳出上乗せ額は、6,225万円と見込んでいます。



修正案の趣旨

*前提として、子育て支援施策や働く女性支援、定住人口の増加策を否定するものではないが、行政の支援として公平性を欠くものであり、以下の理由のとおり修正を求めるものである。

1. 放課後児童クラブ保育料補助の視点だけでなく、半田市としての子育て支援に対する明確なビジョンが見えない中、保育料の一律値下げに疑問を感じる。
2. 放課後児童クラブの現状課題や、子育て世代のニーズ把握が十分されていない状況で、この事業の政策効果が見えない。
3. 放課後児童クラブを利用している家庭と利用していない家庭に対し、支援の格差が生じることによる疑問を感じる。

修正内容 他の事業予算に影響の出ないよう、修正部分に関係する額をすべて一般会計から削除し、同額を予備費に加算し、歳出総額を変更せず収支の均衡を図る。

修正案に対する討論

賛成

私たちは、子育て支援の充実や働く女性の支援は、とても重要であると考えていますが、所得の制限も殆ど無く、保育料の負担を軽減する事は子育て支援ではなく、放課後児童クラブ利用者の保護者のみに対する就労支援施策などではないかと言わざるを得ません。真に支援が必要な家庭に対して、より充実した子育て支援施策の提案を望みます。

石川英之議員

反対

放課後児童クラブの利用者が全児童数の約12%だと言って、予算を使うのは不公平という意見には賛成できません。現状は学区に1ヶ所、定員があるので、そうなるのは当然。高すぎる保育料を、市長の公約どおり下げながら、学校の空教室などを整備しつつ、公設民営・公設公営に切り替えて行くべきです。

山本佳代子議員

反対

半田市の放課後児童クラブの保育料は全国的にも高く、利用しにくいいため、保育料を4月より軽減するべきと考えます。はんだ市報や新聞などに事前に公表されていたため、就労を予定しクラブ入所を申し込んだ市民や事業者は混乱しています。

加藤美幸議員

☆市長の声

議会の判断を真摯に受け止め、庁内や事業所とも再度話し合いをする中で、最良の案を考え、補正予算などで対応し、できるだけ早い時期に実現させたい。

政務活動費を使用した議員活動について

安全で美味しい学校給食を実現する運営管理システムの調査研究（平成30年2月1日～2日）

目的

先進の学校給食管理運営システムを研究し、半田市の学校給食の異物混入や食中毒の防止策づくりに役立てます。



視察地

埼玉県川越市・東京都東村山市
・立川市

学んだこと

昨年刻み海苔を介したノロウイルスによる食中毒が発生した立川市の学校給食センターを視察してまいりました。視察によって、先進の運営管理と厳しい食材調達基準を設けていた施設で食中毒が発生した事が分かりました。しかしこの管理レベルによって、原因究明と事故後の改善も速やかに行うことができたとのことでした。また、東村山市では、独自の食育を実践していました。

半田市に活かせること

- ・先進の運営管理で行う学校給食センターを、早期に建設する。
- ・厳しい食材調達基準を設け、異物混入や食中毒の起きない仕組みを目指す。
- ・子どもたちが、人気の献立レシピを家庭に持ち帰る事ができるようにし、給食への関心を高めるよう努める。
- ・保護者向けの食育講座を設ける。

災害発生時の初動対応と震災からの復興状況について（平成30年1月18日～19日）

目的

大規模災害時は発生直後から情報の収集・伝達等の臨機応変での確な初動対応が極めて重要です。被災地の実情から初動対応を学び地域防災計画に生かせるように調査研究していきます。



視察地

宮城県山元町・石巻市

学んだこと

- ・震災後、最も重要視したのが避難誘導である。
- ・人、資機材、通信機器、避難所等全てが不足。
- ・一週間以上たってから職員の初動対応が始まった。
- ・限られた資源のなかで優先順位の判断が困難であった。
- ・様々な所に備蓄されている備蓄品が不足していた。
- ・7年経っても復興は進んでいないと感じた。

半田市に活かせること

- ・備蓄品は更なる充実が必要である。（各家庭も同じ）
- ・避難所生活には日ごろから地域の繋がりが大変重要。
- ・全ての部署、避難所等に女性へのきめ細かな配慮が必要。
- ・職員も被災者となる事が予想されマンパワーが足りなくなる事が想定される。



市民が読みたくなる「半田市議会だより」づくりの研究 (平成30年2月9日)

目的

中高生や子育て世代も含めた多くの世代の市民が読みたくなる議会だよりにするために、「議会広報基礎講座」「製作技術クリニック」を学んで紙面づくりに役立てます。



研修

学んだこと

現状の議会だよりについて、全体的な内容として問題は少ないです。しかし表紙や導入部のインパクト、レイアウトや余白の使い方などに工夫の余地があります。また中高生や子育て世代も含めた多くの世代の市民から読んでもらうために、特集記事やSNSの活用、市民が参加して共感できる紙面づくりが必要です。

半田市に活かせること

- ・議会だよりの導入部分を特集・連載記事にすること。
- ・読みやすくするために、写真や余白部分を多用すること。
- ・一般質問で質問が「である調」、答弁が「ですます調」だと一体感がないため、「ですます調」に統一すること。
- ・議員ごとにQRコードを付けて簡単に動画を見られるようにすること。

その他の政務活動費を使用した議員活動内容

- ・「中心市街地の一体的なまちづくりの活性化ビジョンについて」(研修) …… 6月23日
- ・「災害時応急医療活動拠点の整備と体制の確立」(練馬駐屯地・厚木市) …… 10月30日～31日
- ・「公立病院経営形態の在り方について」(日本海総合病院・山形市・船橋市) …… 11月7日～9日
- ・「在宅医療・介護連携の推進について～地域包括ケアシステムの構築に向けて～」(夕張市・札幌市・静岡市) …… 1月22日～24日
- ・「市民が必要とし、持続可能な市営墓地のあり方について」(横須賀市・相模原市・千葉市) …… 1月23日～24日
- ・「地方公共団体における民間人材の活用について」(町田市・富士市) …… 2月1日～2日

今後の本会議の予定

5月臨時会：5月15日(火)、16日(水)
6月定例会：6月19日(火)から29日(金)

※会期中の日程は約一週間前の会議で決定します。

あとがき

お花見、各地区の春祭り、皆様爽やかな春を満喫されていますか。新年度が始まり、半田市も更に住みやすいまちを目指して動き出しました。私たち半田市議会の年度替りは五月中旬。新しい議長を選出し、各委員会も新たな顔ぶれでスタートします。

議会での出来事や議論されていること、議会の思いを少しでもわかりやすく紙面を通じて皆様にお伝えすることが広報広聴委員会の使命と感じ、張りきっています。市議会だよりについてご助言・ご感想も聞かせてくださいね。

広報広聴委員会

- 委員長 鈴木好美
副委員長 竹内功治
委員 小栗佳仁・鈴木幸彦
山本半治

編集・発行 半田市議会

〒475-8666
半田市東洋町2-1
☎05699-0694
☎05699-7185
E-mail: giji@city.handa.lg.jp

